

日本画

【佐藤太清賞】



仲村 葵 「星めぐりの歌」

福知山市制施行85周年
第22回 福知山市

佐藤太清賞公募美術展



亀田 千晴 「逃避と罪悪感」



三浦 美図 「視線が気になる」



殿岡 光 「モノノケ事変」

絵画

【佐藤太清賞】

2023.1.13(金)～15(日)
午前10時～午後6時 期間中無休 入場無料
※会期中市内各所PR/パネル展示(市民交流プラザ、各支所他)
福知山市厚生会館 京都府福知山市字中ノ170-5
TEL.0773-22-4955

表彰式
1.14(土)
午後

2023.1.20(金)～23(月)
午前11時～午後6時 期間中無休 入場無料
横浜赤レンガ倉庫1号館 神奈川県横浜市中区新港1-1-1
TEL.045-211-1515

2023.1.26(木)～29(日)
午前9時30分～午後5時 期間中無休 入場無料
成増アクトホール 東京都板橋区成増3丁目11番3-4F
TEL.03-5998-6881

2023.3.8(水)～12(日)
午前10時～午後6時(8日は午後1時から、12日は午後5時まで)
期間中無休 入場無料
京都文化博物館 京都府京都市中京区三条高倉 TEL.075-222-0888

2023.3.14(火)～19(日)
午前10時～午後6時(19日は午後5時まで) 期間中無休 入場無料
名古屋市民ギャラリー矢田 愛知県名古屋市中区大幸南1-1-10 カルポート東3階 TEL.052-719-0430

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、巡回展示の中止または内容を変更することがあります。

- 審査員(順不同、敬称略)
絹谷 幸二
草薙 奈津子
大矢 朝音
洲鎌 佐智子
福田 千恵
村居 正之
安田 晴美
※草薙奈津子先生は欠席
- 審査作品
絵画の部 40点
日本画の部 56点
- 入賞・入選作品
絵画の部 35点
日本画の部 30点

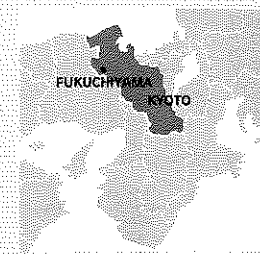
主催/京都府福知山市・福知山市佐藤太清記念美術館
横浜赤レンガ倉庫1号館(公益財団法人横浜市芸術文化振興財団)・名古屋市民ギャラリー矢田(公益財団法人名古屋市民文化振興事業団)
後援/文化庁・京都府・京都府教育委員会・東京都板橋区・公益財団法人横浜市芸術文化振興財団・公益財団法人名古屋市民文化振興事業団・京都文化博物館(公益財団法人京都文化財団)・朝日新聞京都総局・毎日新聞京都支局・読売新聞京都総局・産経新聞社京都総局・NHK京都放送局・京都新聞・KBS京都・両丹日日新聞社・神奈川新聞社・tvk(テレビ神奈川)

問合せ 「佐藤太清賞公募美術展」事務局 TEL.0773-23-7021
福知山市文化・スポーツ振興課 TEL.0773-24-7033

<http://www.f-artcontest.com>



第22回 福知山市 佐藤太清賞公募美術展



京都府福知山市出身の文化勲章受章者 故 佐藤太清画伯は、現代日本画壇の重鎮として後進の育成にも心を注がれ、現在第一線で活躍する多くの日本画家を送り出されてきました。

福知山市は、その功績を讀み、その志を受け継ぐため、21世紀の芸術文化を担う人材の育成を目的として、高校生・大学生を中心に全国から絵画作品の一般公募を行っています。

今回は、絵画の部40点、日本画の部56点の審査作品の中から、佐藤太清賞、特選、入選に選ばれた65点(絵画の部35点、日本画の部30点)を展示いたします。

絵画の部 総評

文化勲章受章・文化功労者・日本藝術院会員・
東京藝術大学名誉教授・
独立美術協会会員

絹谷幸二

絵画の部は本年、出品点数が多少少なくなったこともあり、入選点数も5点ほど少なくなった。

が、しかし、本年の作品は大変質が高く、見ごたえのある諸作が多くそろっていた。

中でも佐藤太清賞の三作、亀田千晴さんの「逃避と罪悪感」は描き込みが鋭く、見る者の心を震撼させて見事であった。三浦美図さんの「視線が気になる」も同様で、コロナ禍の現在を真摯に捉えて指し示している秀作であった。また、殿岡光さんの「モノケ事変」は描き込みにユーモアがあり、青春の一場面を上手に切り取って、本人の心情が画面に染まった力作であった。

特選 福知山市長賞の熊本三姫子さんの「落葉にまぎれて」は、季節の過ぎゆく若き日の心情を描き留め、同 板橋区長賞の山中満月さんの「残光」は時代の為せる姿を繊細に描き込んだ特選に備する作品だと言える。特選 横浜賞の滝田美絵さんの「繭」は、構図や単色の明暗、そしてコンセプトが良く、心打つものがありました。

また、特撰の「命脈」を描かれた岡本楓さんは、生と死という相反する概念がそれぞれ別々ではなく同じものの部分であるということを一枚の画面で言い切り、秀逸であったと思います。同じく特選の田内亜依さんの「彩」は地球を汚しかねない飲料の容器にも集まれば彩りあるモチーフになることを指し示しながら、心底では私達が未来の人々に出来る美しい環境について考えさせる深い思慮のある画を描きました。美しい心のありようを表現した良い作品だと思いました。

以上、このほかにも素晴らしい作品が多くあったことを記し、次作を期待したいと思います。

展覧会場連絡先

福知山 福知山市厚生会館
京都府福知山市字中ノ170-5 TEL.0773-22-4955

横浜 横浜赤レンガ倉庫1号館
神奈川県横浜市中区新港1-1-1 TEL.045-211-1515

東京 成増アクトホール
東京都板橋区成増3丁目11番3-4F TEL.03-5998-6881

京都 京都文化博物館
京都府京都市中京区三条高倉 TEL.075-222-0888

名古屋 名古屋市民ギャラリー矢田
愛知県名古屋市中区大幸南1-1-10 カルポート東3階
TEL.052-719-0430

日本画の部 総評

美術評論家・津和野町立安野光雅美術館館長 大矢 頼音

コロナ禍三年。こんな枕詞がいつまで続くのでしょうか。何となく陰鬱な日常生活の中で、画家たちはその発想のきっかけをどこに見出そうとしているのでしょうか。今回の応募作品は若干少ないということですが、結果的にはなかなか良い作品がそろったように思います。制限いっぱい百号大の画面の中で、しっかりとした表現を展開しています。

今回の受賞四作品は内省的であり、幼い日々への回帰を思わせる静謐な画面となっています。佐藤太清賞 仲村葵さんの「星めぐりの歌」。銀河鉄道をイメージした列車からの車窓風景とも見えますが、リアルなそれではない風景のたたずまい。柔らかさを演出します。手前に枯梗の花を配し、群青を利かせた静かな構図です。この作品の良さは、この絵の持つ雰囲気、余情にあるように思います。

特選(横浜賞)松下幸葉さんの「曖昧な選択を繰り返して生きてゆく。」は一転リアルな日常生活の中での日々の営みの繰り返しを、象徴的に、混んとした居室に表現しているように思いました。一見雑多とも見えるそれぞれの小道具が、調和のとれた画面となっています。

特選(福知山市長賞)池田絵菜さんの「秘密基地」、幼い日々の遊びの一つに、秘密基地は欠かせないものであったことを思い出します。白い木片に囲まれた色彩の良さが際立って画面を引き締めます。五人の子どもたちの表情が引き付けます。

特選(板橋区長賞)岡千尋さんの「内緒事」も、子ども時代への思いに誘います。テーブルクロス越しに見える隠れた少女たちのしぐさがほほえましく感じられます。

惜しくも受賞を逃した、心にかかる入選作。中村瞭佑さんの「ある梅雨の夜」、藤野七帆さんの「街のかたち」、安藤沙彩香さんの「神話にただよう」、桃字夏未さんの「ゆらゆらり」は造形力もあり、骨格のはつきりした良い作品でした。

問合せ

「佐藤太清賞公募美術展」事務局

〒620-0055 京都府福知山市篠尾新町2-29-2
KIKUYAビル301号 (株)ファイル21内
TEL.0773-23-7021 FAX.0773-23-5608
E-mail info@f-artcontest.com

<http://www.f-artcontest.com>